

越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」（技術公募）

『越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」の公募要領（素案）』に対する意見募集を行います

一般財団法人 国土技術研究センター（以下「JICE」という。）では、越水に対して「粘り強い河川堤防」の技術公募の実施にむけて、「越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」の公募要領（素案）」に対する意見を、本日から令和5年1月31日（火）まで募集します。

令和元年台風第19号による洪水では、全国で142箇所の堤防決壊が発生しましたが、今後、気候変動に伴い洪水被害がさらに頻発化・激甚化することが考えられるため、堤防からの越水に対し、粘り強い構造の堤防を整備し、被害を軽減することが求められています。

「粘り強い河川堤防」は、越水しても決壊しない堤防ではなく、施設の能力を超える洪水に対し、避難のための時間を確保するなど、被害をできるだけ軽減するため、越水した場合でも決壊しにくく、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果の発揮を目的に、危機管理対応として実施するものです。現時点では、越水した場合の効果に幅や不確実性があること等から、今後の取り組むべき課題として、「粘り強い河川堤防」に必要となる性能の具体化や、構造物の安定性を長期的に維持するための維持管理方法の検討が重要であること、関係業界団体・大学の研究者や学会等との連携を図るとともに、共同で研究・開発を行う体制の構築等が必要であることなどがあげられています。

このような背景から、「粘り強い河川堤防」の技術開発に必要な検討を行うことを目的に、「河川堤防の強化に関する技術検討会（以下「技術検討会」という）」が設置されました。令和4年5月20日に行われた技術検討会では、「既存の堤防の性能を毀損しないこと」に加え、「越水した場合でも決壊までの時間を少しでも長くする粘り強い性能」を付加する「粘り強い性能に関する基本的な考え方」等が示されたところです。

今後、越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」を公募するに当たっては、技術検討会で示された「粘り強い性能に関する基本的な考え方」等を満たすか確認・評価するとともに、各技術が有する特徴・性能を客観的かつ定量的に把握・比較検討する必要があります。

本意見募集は、この技術公募の実施に向けて、事前に『越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」の公募要領（素案）』に対する意見募集をするものです。


なお、越水に対して「粘り強い河川堤防に関する技術」の技術公募の実施は、令和4年9月に国土交通省から本件技術公募に関する第三者機関として選定されたJICEが行うものです。

意見募集について


□意見募集期間

令和4年12月22日（木）～ 令和5年1月31日（火）


□意見募集要領

 意見募集要領

□意見募集対象

 公募要領（素案）

□意見募集様式

 「公募要領（素案）」に対する意見募集様式

□問い合わせ先

（一財）国土技術研究センター 河川政策グループ
TEL:03(4519)5001 FAX : 03(4519)5011
E-mail : koubo_nebarizuyoi@jice.or.jp